Ⅲ 教育課程•

本学の課程を卒業するために修得しなければならない要件は、学則に記してありますが、その要点は下記のとおりです。 教育課程の概要説明と科目の配当年次をよく理解したうえで、計画的に履修するようにしてください。 なお、開講年度については、一部変更することがあります。

- ① 2か年以上本学に在学すること。(学則 第3条)
- ② 以下の単位を在学中に修得しなければならない。(学則 第24条)

総合生活学科

教養科目

12単位以上

専門科目 50単位以上

計62単位以上

食物栄養学科

教養科目 専門科目

12単位以上

50単位以上

計62単位以上

幼児教育学科

教養科目

12単位以上

専門科目

50単位以上

計62単位以上

- ③ 各授業科目の単位数は、学則第20条の基準によって算定される。
- ④ 毎学期初めに、学生は修得しようとする授業科目を学長に届け出なければならない。(学則 第21条)

教養科目

本学の3学科の全ての学生が履修しなければならない科目群で、全部で30科目・51単位の科目があります。

その中から、「英語コミュニケーション (a)・(b)」の計 2 単位は必ず履修してください。(食物栄養学科は「体育実技」の 1 単位も必修)

さらに、残りの28科目・49単位(食物栄養学科は27科目・48単位)の中から10単位以上(食物栄養学科は9単位以上)を 履修し、合計12単位以上を修得してください。

この教養科目は、学問研究の基礎、社会生活に必要な理論や技能、心身の健康、コミュニケーション力、多角的思考力、 創造性、キャリアなどについて勉強する科目です。

そのねらいは、豊かな人間性を育て、社会での活動の基礎となる深い教養を身に付け、コミュニケーション力を備えた、 社会的・職業的に自立できる人材を育成することです。

具体的には、心身の健康を育成するための「心身の健康科目群」、言語や対話力を身に付ける「コミュニケーション科目群」、文学、文化、芸術などの「感性を磨く科目群」、社会的・職業的自立を支援し、生涯にわたって自己のキャリアを築くための「キャリアアップ科目群」、社会での活動の基盤となる「社会を理解する科目群」があります。

皆さんは、上記の必修単位のほか、自分の将来の生活設計や自分が希望する進路を考慮しながら、必要とする科目を自由 に選んで、必要単位数を充足してください。

授業科目

教 養 科 目

卒業要件単位数は12単位以上

	「		立数	Mis 4v	1年次		2年次	
授業科目		必修	選択	備考	前期	後期	前期	後期
心身の健康科目群	教育学		2			0		0
	衣生活の知識		(1)			0		0
	食事学		2		0		0	
	食品科学		2			0		0
	体育講義		2		幼	0	0	0
	体育実技		(1)	「体育実技」は食物栄養学科必修	食	0	幼	0
コミュニケーション科目	異文化コミュニケーション		2		0		0	
	● 心理学 I		2		0		0	
	英語コミュニケーション (a)	(1)			総幼		食	
	英語コミュニケーション (b)	(1)				総幼		食
ション	▲ 英語講読 (a)		(1)		0		0	
ン科目群	▲ 英語講読 (b)		(1)			0		0
	日本語入門		2	教育職員免許状(幼二)及び保育士資	0		0	
	海外語学演習		(3)	格取得のためには「情報 A」、「日本国 憲法」、「体育講義」、「体育実技」は必修	単化	 単位はその都度認定する		
	造形美術		(1)		0		0	
感性を磨く科目群	芸術表現学		2			0		0
	▲ 音楽鑑賞		(1)		0		0	
科目群	言葉と文学		2			0		0
	日本の伝統文化		2		0	0	0	0
キャリアアップ科目群	キャリアへのアプローチ I		2		0			
	キャリアへのアプローチⅡ		(1)			0		
	数学 I		2		0		0	
	● 数学Ⅱ		2			0	*	0
	情報 A		(2)		0	1	1	
	情報 B		2		0			
社会を理解する科目群	神戸学		2		0		0	
	日本の生活文化		2			0	1	0
	ボランティアの実践		(1)		•	•	•	•
科	日本国憲法		2		0	0	0	0
لــنــــــــــــــــــــــــــــــــــ				<u>!</u>				

- ▲廃止予定科目
- ●単位互換科目

卒業要件単位外自由科目

授 業 科 目	単位数		備考	1年次		2年次	
	必修	選択	加 考	前期	後期	前期	後期
インターンシップ		(1)	卒業要件単位に含まない	•			

別表 ·「体育講義」「体育実技」履修方法

学 科	資 格 等	必修・選択	期間
総生	全員	選 択	
食栄	全員	「体育実技」のみ必修	
	教育職員免許状	必 修	前期または後期
幼教	保 育 士 資 格	必 修	
	資格取得無	選 択	

全学開放科目(オープン科目)の受講について

全学開放科目(オープン科目)は、本来は各学科の専門科目ですが、他学科の学生が教養科目として履修できるやや専門性の高い科目です。文理を融合、学科を横断し、所属学科とは異なる専門教育が受けられ、幅広く興味を持っている学生に開かれた科目群です。

※開講科目は毎年更新されるため、別途KISSシステムで通知します。科目の内容は本来の学科の専門科目の項目やシラバスを参照してください。

全学開放科目(オープン科目)の修得単位は、本学の教養科目の卒業要件単位として認定されます。

ただし、本来、各学科の専門科目であり、当該学科の学生の履修を優先とするため、受講に条件を有する場合や履修人数制限により抽選を行う場合があります。履修に際してはシラバスやKISSシステムの通知をよく確認のうえ、各学期とも1度目の履修登録期間(履修修正期間)の締切りまでにKISSシステムから履修登録してください。

神戸女子大学における単位互換科目の受講について

本学は神戸女子大学と単位互換協定を結んでいます。これにより、神戸女子大学において開講される科目(単位互換科目) を受講することができます。修得した単位については、本学の教養科目の卒業要件単位として認定されます。

受講を希望する場合は、次の事項に注意し、必要な手続きをとってください。

1. 単位互換科目

オリエンテーション時に、本年度開講科目の一覧表を提示します。

2. 受講料

無料です。

3. 履修方法

神戸女子大学の時間割に指定された開講時期、時間および場所において、受講可能な科目を履修することとなります。

4. 履修手続

- 履修を希望する場合は、各学期の申込受付期間中(掲示連絡)に教務課に申し出た上で、履修に必要な書類を受け取ってください。
- 「履修願」等の申込書類は、指定の期日までに、教務課に提出してください。
- 選考により受入れを決定し、結果を通知します。
- その他履修手続に関しては、教務課の指示にそってください。

5. 注意事項

- 認定できる単位は15単位を上限とします。
- 人数の制限等により、希望する科目が履修できない場合があります。